



よさの 社協だより

第27号

平成28年2月

編集・発行
与謝野町
社会福祉協議会

災害ボランティアセンターの 調印式

平成28年1月7日災害ボランティアセンター運営に係る町と社協との調印式が行われました。
(詳しくは7面で)



福祉車両出発式

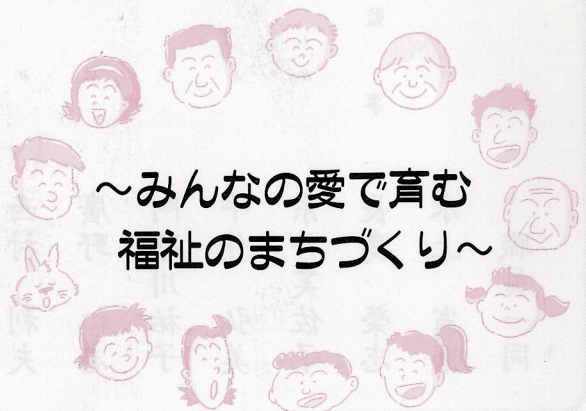


福祉車両出発式（車両の贈呈）

京都府遊技業協同組合から病院への移送車両を寄贈していただきました。(7面に関連記事)

主な内容

- ▷ 北風会長年頭のあいさつ 2面
- ▷ 歳末たすけあい募金のお礼と報告 3面
- ▷ 赤い羽根共同募金活動・福祉体験学習・表彰 4面
- ▷ 歳末ふれあいバス・障がい児・者のつどい 5面
- ▷ ボランティアこーなー・サロン活動紹介 6面
- ▷ 災害ボランティアセンター・移送車他 7面
- ▷ ご寄附のお礼と短信 8面



<この広報紙は、赤い羽根共同募金を活用しています>



～年頭のあいさつ～

さずな

絆ネットワークの構築を…

与謝野町社会福祉協議会

会長 北風 雅雄

町民のみなさまには、お健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は、当協議会の活動に格別のご理解・ご支援を賜り、役職員一同心より厚くお礼申し上げます。

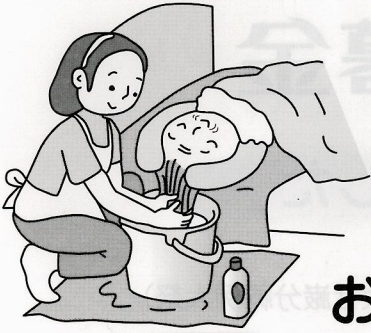
平成27年度もあとわずかになりましたが、子育て支援事業や、障がい者支援事業、高齢者を対象にした事業など町民のみなさまのご協力をいただきながら事業計画に沿って活動を進めています。

また、今年は災害ボランティアセンターの運営や絆ネットの構築など社会福祉協議会として担うべき新たな課題が多くありますが、町民のみなさまが住み慣れた町で安心して暮らせることができるように、今年も役職員一同全力で取り組んでまいりますので、皆様のご協力をよろしくお願いたします。

そして、新しい年が皆様にとりまして幸多き年であることを祈念いたしまして年頭のご挨拶とさせていただきます。

今年もよろしくお願いたします

職員一同	水上 省悟	長島 榮志	糸井 芙佐子	平井 弘美	阿路川 祐子	廣野 仁志	西村 利夫	楠田 育雄	塩見 田鶴子	西原 宏	芝井 一行	井上 正則	上田 昭	津田 初男	四宮 功雄	福田 道徳	北風 雅雄
	監事												地区代表理事		副会長	会長	



歳末 たすけあい募金

お見舞金や在宅サービスなどに

昨年末に、京都府共同募金会与謝野町分会（分会長：山添藤真町長）と社協の取り組みとして町民のみなさまにご協力をいただいた全国一斉の「歳末たすけあい募金」は、今回も多くのご善意をいただき生活支援を必要とされる方々からの申請（基準あり）によるお見舞金をはじめ、家庭で介護などを受けている高齢者や障がい者へのサービス事業のほか町内の保育所から中学校まで本の贈呈等有効に活用させていただきました。ご協力いただきました町民のみなさまはもとよりお世話になりました各区の関係者の方々にお礼を申し上げますとともに、民生児童委員協議会役員と社協役員による配分委員会で協議決定した配分内容を報告します。

町内の募金額は、

加悦支所扱い	838,669円	（前年 885,586円）
岩滝支所扱い	835,859円	（同 843,960円）
野田川支所扱い	1,383,653円	（同 1,362,160円）
合 計	3,058,181円	（同 3,091,706円）

募金配分内容

高齢少額年金の一人暮らしの方へ	お見舞金	69名	483,000
自宅で重度要介護生活の方へ	同	65名	455,000
自宅で長期療養の方へ	同	7名	49,000
重度障がいの方へ	同	157名	1,099,000
特に生活支援が必要な方へ	同	7名	70,000
掃除や障子の張替えサービス		40件	163,748
訪問理美容サービス		28件	68,990
布団洗濯乾燥サービス		22件	130,676
歳末ふれあいバス		13名参加	68,719
障がい児・者ふれあいのつどい		32名参加	163,361
社協文庫		25ヶ所に配付	206,687
事務費			100,000
合 計			3,058,181

町民の皆さん、歳末たすけあい募金へのご協力ありがとうございました。

赤い羽根共同募金

街頭募金ありがとうございました

加悦地域（りんごまつり）



野田川地域（出雲大社巖分祠例大祭）



りんご祭（平成27年11月1日）、巖分祠例大祭（平成27年11月3日）の2日間街頭募金を実施し、合わせて176,508円の募金をいただきました。

福祉体験学習の様子

福祉体験学習の一環として、橋立中学校1年生87名を対象とした視覚障がい者についての疑似体験「アイマスク体験」が行われ、この講師として与謝野町社協と宮津市社協の職員が協力しました。



アイマスク体験（歩行介助）

11月16日の事前学習では当事者の話を聞き、17日に行われた疑似体験では、それを感じながら介助方法を学びました。障がいを理解し何か役に立てることはないかとの「気づき…」のきっかけになればうれしいです。



当事者の方の話に耳を傾ける生徒たち（橋立中学校体育館にて…）

おめでとうございます！ 厚生労働大臣表彰 伝達式 給食ボランティアグループ 「錦会」

平成27年11月30日（月）、京都府丹後広域振興局において京都府丹後広域振興局長より給食ボランティアグループ「錦会」に厚生労働大臣表彰状が授与されました。地域での給食サービス活動及び施設支援活動、地域事業への参加等長年にわたるボランティア活動が認められ今回の受賞となりました。伝達式に出席された現代表者 阿路川祐子氏は「錦会を立ち上げられた皆さんのお力があっての表彰。お弁当をお届けした時の利用者の皆さんの笑顔を励みに活動を継続できるよう頑張ります。」と話されました。



歳末ふれあいバス

～年末買い物ツアー～

何を買おうかな～♪



今年もマインの大きなクリスマスツリーの前でハイポーズ!

昨年に引き続き「歳末ふれあいバス」を去る12月22日(火)に実施しました。当日は晴天に恵まれ、参加者、役職員、ヘルパー総勢23名がマイクロバスに乗り合わせ、心弾ませながら買い物の目的地であるマインに向かいました。

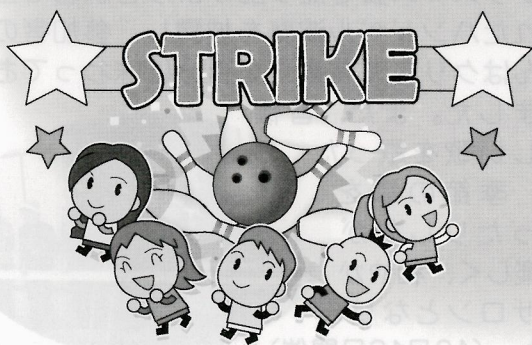
買いたいものを事前にメモしてこられている方や、ゆっくり品物を見て回られる方など、役職員と一緒に思い思いの買い物をされ、帰りには大きな荷物を抱え大満足の有意義な買い物ツアーとなりました。

参加された皆さんからは「とても楽しかった～」「来年も是非参加したい!」との声もたくさんあり、次回を楽しみに帰路に着きました。

障がい児・者ふれあいの集い

平成27年11月28日(土)に恒例となった「障がい児者ふれあいの集い」を開催しました。今回は役職員含めて54名の参加があり、京丹後市のアピア峰山でボウリングを楽しんだ後、

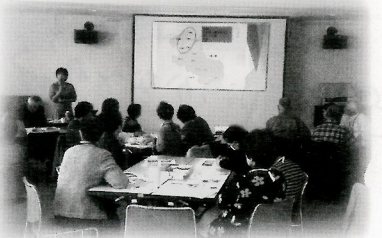
セントラーレホテル京丹後に会場を移し、参加者みんなで美味しい昼食となりました。会場では「持ち物ビンゴゲーム」で交流を深め、帰りの車内では「また来年も来ようで」の声も上がるなど、参加者みんなで楽しい時間を共有できた一日となりました。



ボランティア こ～な～

平成27年度 与謝野町ボランティア講座 「聞こえを学ぼう」

平成27年9月4日（金）与謝郡聴覚言語障害センターから笹田大輔氏を講師に迎え与謝野町ボランティア講座「聞こえを学ぼう」を開催しました。ふれあいサロン・難聴者サロンスタッフ、給食ボランティア等実際に高齢者と関わる方たち総勢46名の参加がありました。与謝野町は機業従事者が多いこともあり難聴者の割合が多いと言われています。聞こえが悪くなると、みんなの会話に入れない、何度も聞くと相手に悪いからわかったふりをして返事してしまう、その結果社会や家族の中で孤立する可能性が高くなること等、気づきの多い講座となりました。また、音を遮断するヘッドホンを着用して行う難聴者疑似体験では、体験を終えた参加者から「みんなが何を話しているのかわからず不安だった」「みんなが笑ったり、指を差されたり、話の内容がわからず自分の事を言われているのかと想像したり、とにかく不安でこの場からいなくなりたい心境になった」等の感想を頂きました。本講座が難聴者理解への一歩となることを願います。



サロン活動紹介 (前号に続き)

「サロン活動とは」地域で高齢者や障がい児・者、子育て中の方々の生きがい活動と元気に暮らすきっかけづくりを見つけ、地域の人同士のつながりを深め、近隣で助け合いを育む地域づくりを目指します。



<与謝サロン> “頭を使わんとあかん～”

10月17日のサロンは、丹後地域リハビリテーション支援センターの職員に来ていただき認知症のことについてお話をいただきました。認知症とは、現状、症状、認知症になりやすい人の特徴、予防するにはどうしたらよいかなどを学びました。認知症にならないように家にひきこもらないで人と交流し、脳を使う運動をすることが良いことです。その後は、茶話会で隣の参加者とお話しをしたりお菓子をいただいたりのひとときです。サロンの最後には、みんなで歌を合唱して終了しました。また、来てくださいね。……

<加悦奥サロン>大きな声での合唱

10月21日は加悦奥サロンの日です。初めは、森山道子さんによる与謝野町岩屋の雲岩寺に伝わる「あか池の龍神さま」というお話を紙芝居で聴かせていただきました。

次に加悦小学3年生、28名の児童に参加いただき自己紹介と将来の夢を語っていただきました。その後は児童の合唱で、参加されていたみなさん終始ニコニコとほほえましく聴き入っておられました。最後は、握手を交わしてお別れした素敵な交流会になりました。



<明石サロン>歌って…笑って…

月に1度開催されている明石サロン。12月はクリスマス会が明石公民館で行われ、サロンのスタッフさん達は、サンタ帽子を頭に被りクリスマス会を盛り上げようと練習を重ねられたハンドベル演奏を披露し、参加者の皆さんはクリスマス気分を存分に味わっておられました。また、昔懐かしい歌を歌ったり、季節の歌を歌ったりしながら楽しく、和やかなサロンとなりました。(12月19日開催)



災害ボランティアセンターについて

与謝野町と社協は平成28年1月7日に災害ボランティアセンター運営に係る調印式を行いました。今回の協定により、災害ボランティアセンターの運営について町の役割と社協の役割を明確にしております。

災害ボランティアセンターでは、常日頃からの防災・減災についての啓発や、センターを支援するためのボランティアの育成などを町民のみなさまのお力を借りて行っていきたくと思います。

また、当町に大きな災害が発生した際の災害ボランティアの募集、受け入れなど、復旧に向けた支援体制づくりを社協が中心となって進めていくこととなります。



福祉車両を寄贈いただきました



スロープ付きの車です

現在、加悦支所で活用している移送サービス車両は老朽化が進み、買い替えのことを検討していたところ京都府遊技業協同組合様からのご厚意により、福祉車両を贈呈していただくことになりました。

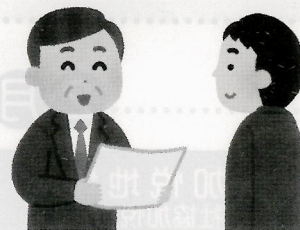
平成27年12月11日に与謝野町社会福祉協議会岩滝支所において、京都府遊技業協同組合の白川理事長はじめ多くの関係者の方をお招きして福祉車両の出発式を開催しました。

寄贈いただいた車両は早速、通院移送サービス事業に活用しており、今後も利用者を安全かつ安心して利用していただくサービスの向上に取り組んでいくこととします。

社協職員2名が全国社会福祉協議会表彰を受賞しました

社協職員として20年以上勤務し、社協活動に貢献された職員に対し表彰されるもので、このたび2名の職員が受賞しました。

- 西原 成 加悦支所長
- 松本 恵美 岩滝支所長



新入職員紹介

よろしくお願ひします



島崎孝道【野田川支所】

一般事務職員として本所で勤務しています。一からのスタートで勉強の毎日ですが、たくさんの地域の方々とふれあい、地域貢献のため頑張りたいと思いますので、よろしくお願ひします。



小西由美子【岩滝支所】

平成27年12月より、ヘルパー兼務のケアマネージャーとして岩滝支所に勤務しています。覚えることがたくさんあり四苦八苦していますが、“出会い”を大事にしながらんばっています。

善意のご寄付ありがとうございます



(平成27年10月1日～平成27年12月31日)

町内に配布している広報誌には掲載しています。
個人情報保護の為ホームページへの掲載は自粛
させていただきます。

お知らせ

与謝野町社協ではヘルパーを募集しています。

介護福祉士・2級ヘルパー資格者・初任者研修修了の方で、社協の登録ヘルパーとして働いてみようと思われる方は、本所・岩滝支所の担当者までお知らせください。勤務時間等詳しくはお尋ねください。

2月・3月の心配ごと相談日

加悦地域 (社協加悦支所)	岩滝地域 (岩滝ふれあいセンター)	野田川地域 (社協本所)
2月25日(木)	2月10日(水)	2月18日(木)
3月25日(金)	3月10日(木)	3月18日(金)

時間 ～いずれも午後1時から3時まで～

相談者 行政相談員 民生児童委員 人権擁護委員 社協役員
京都府の相談就労支援員(本所のみ)